

SMART Board の使い方

1. 接続 & 起動

プロジェクターの電源を入れます。

(学務からリモコンを借りて操作するか本体の電源ボタンを押してください)

VGA ケーブルに PC を接続します。

専用の USB ケーブルでスマートボード本体と PC を接続します。

接続が完了するとスマートボードが起動します。

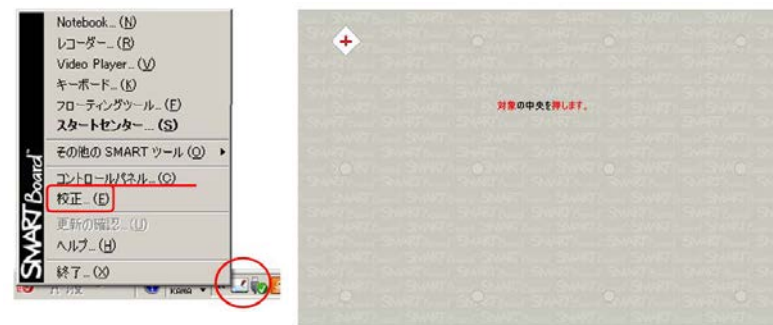


PC 上に自動再生画面が表示されるので「Start SMART Board Software」を実行してください。ソフトウェアが起動したら PC 画面上に SMART Board ツールバーが表示されます。



2. 座標の調整

PC 画面右下のインジケータ領域に SMART Board のアイコンが表示されるのでクリックし、メニューボックスから校正を選んでください。



スマートボード上に表示された十字マークの中央を専用ペン、もしくは指でタッチして、一点ずつ座標を合わせていきます。

※座標の調整は初回起動時に行えば以降は必要ありません。

ずれを感じたら再度調整を行ってください。

3. 基本的な使い方

3.1 基本操作

普通ホワイトボードのように専用のペンを使って書き込んだり、イレイサーで書き込みを消したりすることができます。



基本的な操作は専用のペンを使っておこないますが、指で操作することもできます。

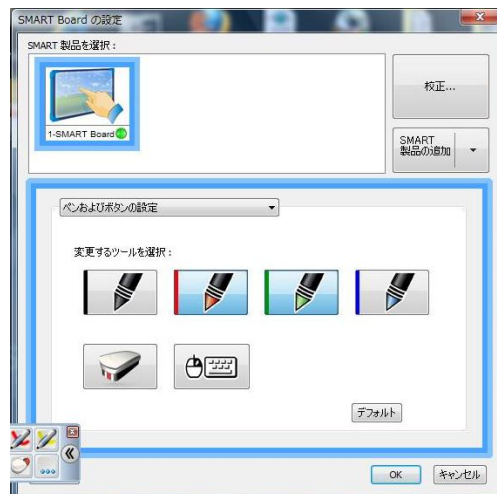
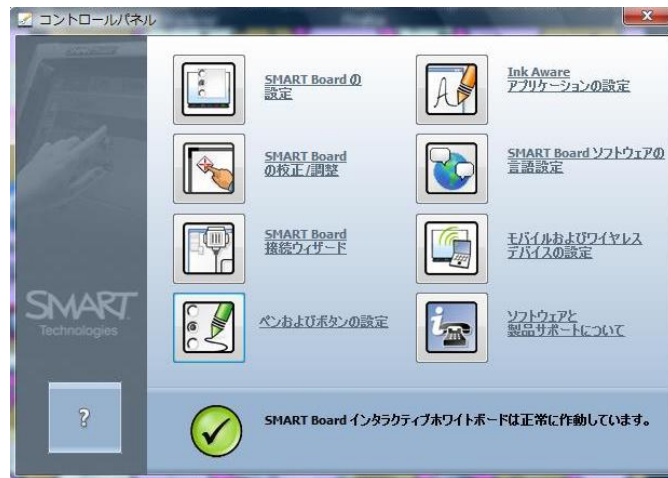
▼指を使ったスマートボード上での操作

クリック → 画面を 1 回タッチ

ダブルクリック → 画面の同じ位置を 2 回タッチ

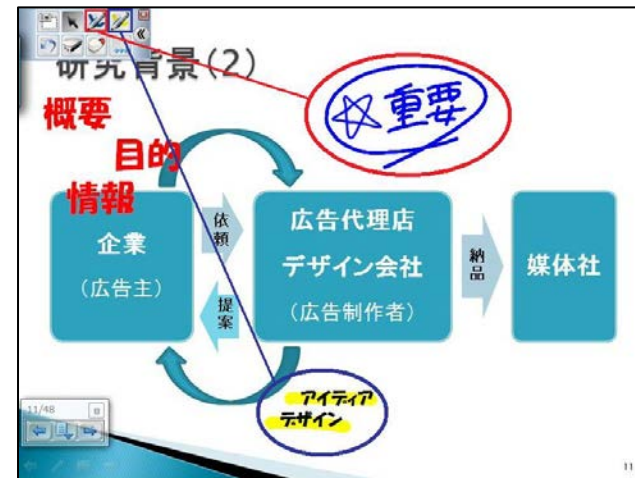
ドラッグ → 画面を指で押さえながらひきずる

SMART Board ツールバーからコントロールパネルを開くと専用ペンの設定が行えます。黒赤緑青の基本色以外の色に変えたりペンの太さを変更することができます。



3.2 使用例

PowerPoint での例です。

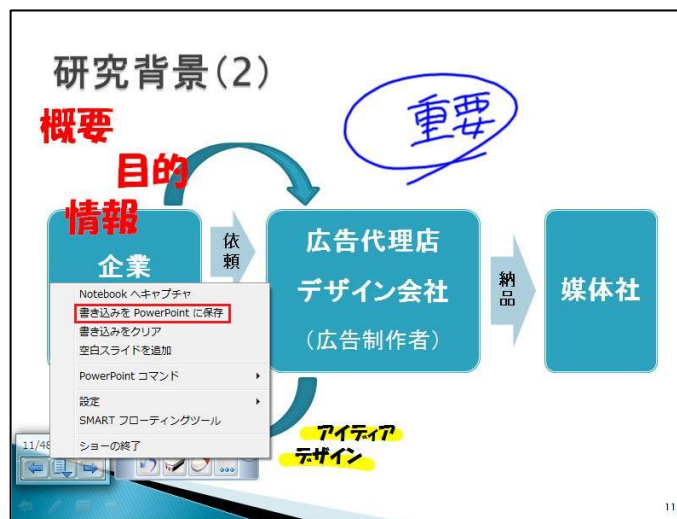
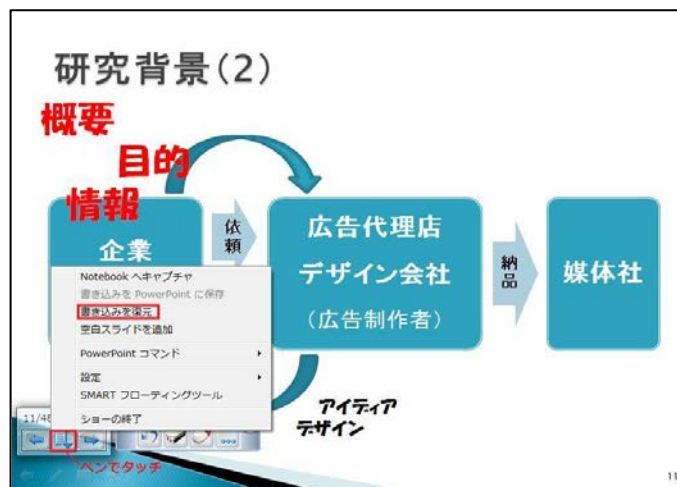


ペンツールで文字を書き込む (赤丸)

蛍光ペンツールで文字列をマークする (青丸)



↑一度ペンでタッチして各ツールを選択します。



書き込みを復元、または Powerpoint に保存できます。



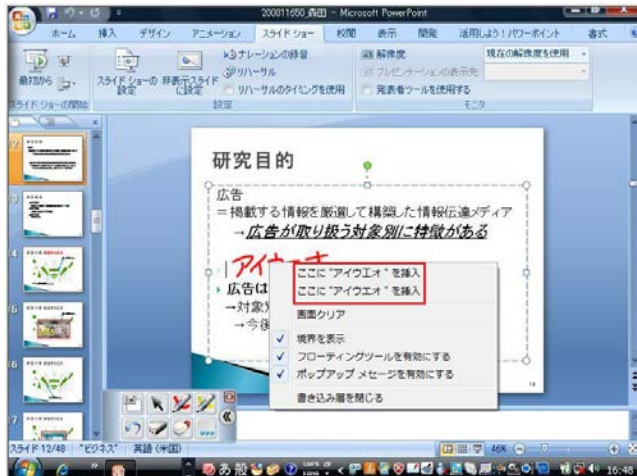
矢印ツールを選択すれば PC 上の操作も SMARTBoard の画面から行えます。



↑スライドの移動は左右の矢印をタッチして行います。
中央のアイコンをタッチするとメニューが開きます。

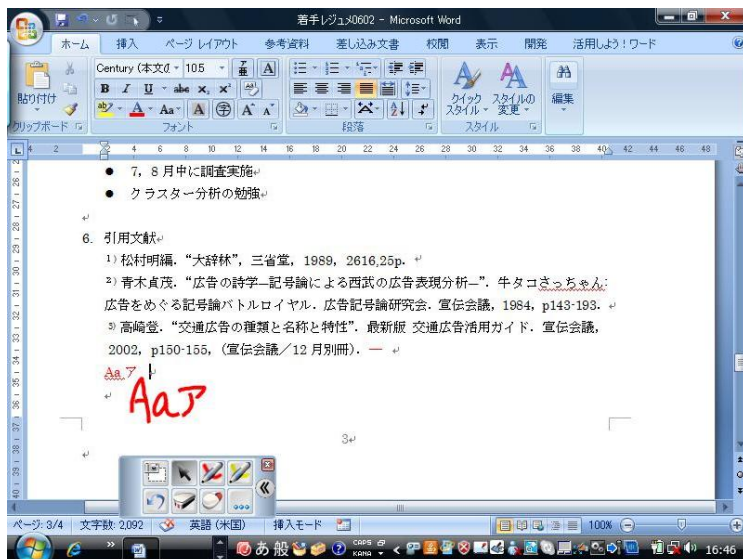
4. 応用編

○手書き文字をテキストに変換する



手書き文字を矢印ツールでタッチして選択すると、テキストへ変換できます。

○オブジェクト機能



スマートボードに書き込んだ文字をタッチすると、文字が「オブジェクト」として認識され、移動や拡大縮小ができるようになります。また、PC画面上でオブジェクトを指定→右クリックでリンクや音を付加することができます。

5. 終了時

PC画面上の SMART Board ツールバーを消し、「ハードウェアの取り外し」を行ってください。

USB ケーブルを抜けばスマートボードは終了します。

2011 年 7 月 7 日 森田紗季 作成